慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介 ; 第五十六巻第九号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1983
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.56, No.10 (1983. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19831028-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

高鳥正夫　法学部教授
青柳文雄　立正大学教授
手塚豊　慶應義塾大学名誉教授
坂田仁　横浜家庭裁判所調査官
宮島司　法学部専任講師
近藤龍司　名古屋商科大学講師
栂善夫　青山学院大学教授
内山秀夫　法学部教授

第五十六巻　第九号　目次

論　説

西ドイツにおける調査命令に基づく税務調査
―調査命令の法的性質と意義―　木村弘之亮

西ドイツにおける少年非行の動向と対策　ギュンター・ブラウ　宮澤浩一訳

研究ノート

既判力標準時後の相殺権行使に関する判例について　坂原正夫

資　料

西独連邦弁護士法（三・完）
――解題と条文の翻訳――　石川明　中山幸二

判例研究

〔商法〕　二三五　瑕疵ある株主総会の決議の後に、同一事項につき重ねて適法な株主総会で決議した場合の株主総会決議取消の訴の利益　羽和彦

〔最高裁民訴事例研究〕　二一二　商法研究会　民事訴訟法研究会

紹介と批評

宇野善康・澤木敬郎・鈴木孝夫
鶴見和子・鳥羽欽一郎・野元菊雄　共著
『国際摩擦のメカニズム
―異文化屈折理論をめぐって―』　霜野寿亮

特別記事

琴東信氏学位請求論文審査報告
櫻井雅夫君学位請求論文審査報告